

## 令和4年度第2回

### 和歌山県独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構運営協議会開催概要

#### 1 開催日時

令和5年3月23日（木）10:00～11:30

#### 2 開催場所

和歌山支部 和歌山職業能力開発促進センター A204・205

#### 3 議題

- (1) 令和4年度事業実績について
- (2) 令和4年度和歌山県訓練計画専門部会の報告について
- (3) 令和5年度事業計画について
- (4) ものづくり分野に係る能力開発の推進状況について
- (5) その他

#### 4 議事経過

資料に沿って事務局から説明が行われた後、質疑及び意見交換がなされた。各委員から述べられた主な意見は以下のとおり。

(全般について)

- ニーズ調査を県内の幅広い事業主に対して実施することにより、県全体で必要なニーズをよりの確に把握していただきたい。
- 今の若者はどちらかといえばジョブ型で働きたいと思っているが、企業側はメンバーシップ型で雇用したいと考えている。ここがマッチングしないとズレが生じてしまうのではないか。

(離職者訓練について)

- CAD・NC技術科という訓練科名では、具体的に実施する訓練内容をイメージすることが難しいのではないか。入所率改善のため、訓練課名の変更や具体的にイメージすることが容易な名称を付記してもよいのではないか。

(在職者訓練・生産性向上支援訓練について)

- 令和5年度にリスキリングに関する訓練メニューの増加等を期待しているが、令和5年度の事業計画では、画期的な訓練内容の工夫や増加はあまりないため、現在の取

組の中で改善していただきたい。ただ、企業側も人手不足のため、訓練のために社員を派遣する余裕がないが、まずは、政府が提唱する訓練メニューや訓練規模を推進し、企業ニーズをもう一度掘り起しつつ、徐々に訓練内容の充実に向けて取り組んでいただきたい。○ 調査方法について従来の方法を踏襲している部分が強いと思うので、可能であればアップデートしていただき、今後、日本全体、あるいは和歌山県にとって育成が必要な技能に関するニーズを掘り起こして、関連する訓練プログラムを積極的に設定していただきたい。

(その他)

- コロナが落ち着き、夏頃には従来のようなものづくり体験教室が実施できる可能性はあるので、積極的に取り組んでいただきたい。

令和4年度第2回和歌山県独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構  
運営協議会 委員名簿

区 分	氏 名	所 属 及 び 職 名
学識経験者 (3名)	高岡 伸行 (会長)	和歌山大学経済学部教授
	榎本 ゆかり	ニュース和歌山株式会社取締役事業部長
	日高 亜季	和歌山県専修学校各種学校協会 (専修学校和歌山コンピュータビジネス専門学 校校長代理)
労働者代表 (1名)	濱地 正由	日本労働組合総連合会・和歌山県連合会事務局長
中小企業等代表 (5名)	児玉 征也	和歌山県経営者協会専務理事
	田中 一壽	和歌山商工会議所専務理事
	山本 和秀	和歌山県商工会連合会専務理事
	中島 寛和	和歌山県中小企業団体中央会専務理事
	吉田 和史	和歌山県機械金属工業協同組合事務局長
行政機関 (4名)	大川 伸也	和歌山県商工観光労働部労働政策参事
	中村 智裕	和歌山市産業交流局産業部長
	大塚 あすか	和歌山労働局職業安定部長
	上野山 勲	和歌山公共職業安定所長